

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06401小国町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	・少子高齢化や地域とのつながりが希薄化している中で、学校のみならず、家庭や地域住民等が相互に連携・協働して、地域全体で子ども達を育てていくことが課題である。 ・現在協力していただいている地域住民によるボランティアの人材が固定化されている傾向にある。	町民総がかりの教育展開のもと、「それぞれの立場による地域学校協働活動の推進について」をテーマとした研修会を白い森子ども応援隊向けに開催し、より一層の理解と参画を促している。	学校パートナー、放課後子ども教室ボランティア、白い森学習支援センター関係ボランティアなどに加え、小国町PTA連絡協議会とも連携を深め、白い森子ども応援隊への保護者の理解と参画を一層推進するための研修会を学校運営協議会と合同で実施する。	地域がまるごと子ども育成サポーターとなる白い森子ども応援隊への理解と参画が進み、新規ボランティア人材が増えることで、多様な分野で得意とする講座等の先生が誕生し、地域に溶け込んだ活動の中で児童生徒との協働活動により、多様な支援活動として輪が広がっていく。	・新たな学校支援ボランティアの人数を増やす取組みの中で、子ども達と協働で行う「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う児童生徒の割合」(全国学力学習状況調査における児童生徒質問紙より)	72.2	%	75.0	75.5 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	・合同学校運営協議会研修会で教職員をはじめ、小国町PTA連絡協議会との連携により多くの関係者の参加を得ながら、地域学校協働活動への理解が深まったことによりボランティア参加者が延べ10名程度増加した。 このような動きが児童生徒へも影響し、目標達成につながったものと考えている。 ・今後は学校パートナー活動とPTA活動の融合を図りながら、保護者を巻き込んだ地域づくりをどのように進めていくかが課題であり、親の姿から学ぶことによる児童生徒の社会貢献感情の醸成を図りたい。	町ホームページ https://www.town.oguni.yamagata.jp

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。